

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会  
地上業務委員会（第 73 回） 議事概要

1 日 時

令和 4 年10月31日（月）13:00~14:10

2 場 所

Web会議

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査：大阪大学）、小川 博世（主査代理；情報通信研究機構）、足立 朋子（東芝）、飯塚 留美（マルチメディア振興センター）、内田 信行（楽天モバイル）、齊藤 佳子（パナソニック コネクト）、阪田 史郎（東京大学）、田北 順二（全国船舶無線協会）、西岡 誠治（電波産業会）、福家 裕（日本電信電話）

[関係者]

横山 隆裕（電波産業会）、岩谷 純一、大槻 信也、中谷 達也（日本電信電話）、柴垣 信彦（日立国際電気）、宮寺 好男（日本無線）

[事務局]

総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室 増子室長、吉積課長補佐、重成係長、杉山官

4 配 付 資 料

資料地-73-1	地上業務委員会（第72回）議事概要（案）
資料地-73-2	ITU-R SG 5 関連会合報告書（案）
資料地-73-3	ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地-73-4	ITU-R SG 5 関連会合の対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG 5 関連会合の開催案内
参考資料2	ITU-R SG 5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料3	地上業務委員会 構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第 72 回）議事概要について

【資料地-73-1】

地上業務委員会（第72回）の議事概要について事務局から説明があり、意見等が

ある場合は、本日10月31日（月）中に事務局に連絡することとされた。

(2) ITU-R SG 5 関連会合の報告について

【資料地-73-2】

資料地-73-2-1から資料地-73-2-3に基づき、事務局より前回のITU-R SG 5関連会合の報告が行われた。

(3) ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書案について

【資料地-73-3】

事務局から、ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書案は計9件であり、WP 5A会合については資料地-73-3-1から資料地-73-3-3までの3件、WP 5B会合については資料地-73-3-4及び資料地-73-3-5の2件、資料WP 5C会合については資料地-73-3-6から資料地-73-3-9までの4件であるとの説明があった。

【資料地-73-3-1】

「新報告草案ITU-R M. [252-296 GHz, LMS, FS, COEXIST]への提案」について、小川主査代理から説明がなされ、質疑なく承認された。

【資料地-73-3-2】

「新報告草案ITU-R M. [GAV]作業文書への修正提案」について、電波産業会の横山氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

- 三瓶主査 中国の「生の知覚データ」にはプライバシーに関わる内容は含まれているのか。
- 横山氏 自動車に設置されたカメラで撮影された周辺の映像であるため、それが個人情報やプライバシーに関わる可能性はある。
- 三瓶主査 プライバシーに関わる内容であれば法にも触れるものであり記載すべきではない。どのレベルのことを議論しているのか確認する必要があると思うが如何か。
- 横山氏 プライバシー自体に踏み込んだ記述は含まれていない。本件は、交通事故発生時に加害者、被害者を特定して、その結果生じた不法行為に対する損害賠償責任を確認するために必要ではないかということで議論されているもの。ITU-Rの報告は、技術的検討事項について書くのであって、法的なところに踏み込むべきでない、ということで、先ほど、「書きすぎ」と説明したが、正確には、「書くべきではない」ものである。前回会合で日本からそのように指摘したが、中国に受け入れられなかったために、議論が継続している状況

である。  
三瓶主査 了。

【資料地－73－3－3】

「勧告改訂草案ITU-R M. 1450-5に向けた作業文書の修正提案」について、日本電信電話の岩谷氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 中国・ロシアが提示してきた6 GHz帯の制約追加案に対して、前会合において日本が削除提案をしたとのことだが、何が論点になっているのか不明瞭であるため、説明願いたい。

岩谷氏 IEEEが6 GHz帯の11axの追加を提案してきたが、これによる無線LANの6 GHz利用が増えることを懸念した中国が、対抗する形で6 GHzの制約追加を提案してきたのが経緯。中国の提案に対しては、米国や欧州も反論しており、日本も前回会合から削除の提案をしている。これは継続議論となっており、日本の意見も作業文書に反映されているが、結論はまだ出ていない。

三瓶主査 了。

飯塚構成員 中国・ロシアは、この周波数帯をIMTに使用したいという意図か。

岩谷氏 その意図も含まれている可能性はあるが、表向きには、固定衛星への干渉を懸念している旨、会合の中で発言していた。

飯塚構成員 了。

【資料地－73－3－4】

「新報告草案ITU-R M. [AGS]に向けた作業文書の修正提案」について、日本無線の宮寺氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

田北構成員 本提案の最後に追加されたAGS機能の「verification test results」は、概要の説明によると、「日本で実験試験局を用いてACSの実証実験を行うため」である、とある。ACSの要件や周波数を決めるのに、概要や試験結果が勧告のAnnexに記載されているが、こういった形は一般的なのか。

また、このMF・HF機器については義務設備になるため、通常IEC規格と呼ばれる別の試験規格に基づきACSやDSCの試験が実施されるが、それとの兼ね合いは如何。

宮寺氏 これは勧告ではなく報告になるが、ITU-R報告の本文やAnnexには実証実験やシミュレーションの結果が記載されるのは一般的であ

る。

このシステムの改訂については、IMOが性能基準を作成し、ITU-Rが勧告にて、実際の技術的条件や運用手順を作成し、並行して、IECが試験規格を定めている。2024年をターゲットにGMDSSの近代化が進められているため、ある程度平行に進めないと開発が間に合わない。IMO、ITU及びIECが連携して進めている。

田北構成員 IECで試験規格を開発中だと思うが、その内容と本提案の追加提案内容の共通の部分は如何。

宮寺氏 基本的には、ITU-R勧告及びIECの試験規格に準拠した場合、本当にそれで実現可能かを確認する内容となっている。

田北構成員 了。レポートの内容が機能するかの確認と理解した。

#### 【資料地-73-3-5】

「新報告草案ITU-R M. [FOD\_SHARE]に向けた作業文書の改定提案」について、日立国際電気の柴垣氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 策定に向けた進捗如何。

柴垣氏 このFOD (Foreign Object Debris) 検知システムの技術仕様に関するレポートは2021年末のSG5会合で承認されたところで、技術レポートのうちまだ完成していないのが今回のこのEESSとの共用・両立性に関するレポートである。FOD側のレーダに関しては技術測定結果の開示があったと認識しているが、Annex 2にある通り、衛星側の干渉検討が完了していない。まずはWP7Cから指摘のあった点につき対応し、今次会合以降、衛星関係者側からの入力を促進して、完成する方向に持っていきたい。あと、2、3回の議論を要する見込みである。

三瓶主査 了。

#### 【資料地-73-3-6】

「報告改訂草案ITU-R F. 2416-0への提案」について、小川主査代理から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 報告改訂に向けた作業は近々終了する見込みか。

小川主査代理 然り。今回、この450 GHzまでの改訂報告を完成させたい。WRC-23のことも考えると今後、慌ただしくなることが予想されるため、可能な限り2022年度中に終了させたい。カナダも寄書提出を検討している様子であり、適宜協調して今会期中に完成させたい。

三瓶主査 了。  
足立構成員 寄与文書Annex4のTable 5に記載してある企業名のところで、” Phisics” とあるが、綴りに誤りはないか。  
小川主査代理 ドイツの企業であり、そのまま記載したが、英語表記とは異なる可能性がある。現地で確認し、適切に対処する。

【資料地－73－3－7】

「勧告改訂草案 ITU-R F. 758-7に向けた作業文書に対する修正提案」について、日本電信電話の大槻氏から説明がなされ、質疑なく承認された。

【資料地－73－3－8】

「報告改訂草案 ITU-R F. 2323-1に向けた作業文書に対する修正提案」について、日本電信電話の中谷氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

齊藤構成員 本文のAnnex6の2.1に記載の「Table A6-1」は「Table 10」が、2.2の「Table A6-2」は「Table 11」がそれぞれ正しいのではないか。  
大槻氏 然り。指摘いただいたとおり修正する。  
三瓶主査 現在、議論は落ち着いており、改訂草案に格上げという理解でよろしいか。  
大槻氏 然り。

【資料地－73－3－9】

「WP 5Cに割り当てられた研究課題の見直し」について、日本電信電話の大槻氏から説明がなされ、質疑なく承認された。

(4) ITU-R SG 5 関連会合の対処方針案について

【資料地－73－4】

ITU-R SG 5 WP 5A第28回会合、WP 5B第30回会合、WP 5C第28回会合及びSG 5第19回会合の対処方針（案）について、事務局から説明が行われ、特に質疑なく承認された。

(5) その他

参考資料について、事務局から説明があった。

以上